



2023年7月19日

各 位

会 社 名	コスモ・バイオ株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 櫻井 治久 (コード 3386 東証スタンダード)
問 合 せ 先	
役 職 ・ 氏 名	専務取締役総務部長 柴山 法彦
電 話	0 3 - 5 6 3 2 - 9 6 0 0

インスフェロ社との日本国内における独占販売代理店契約

締結のお知らせ

コスモ・バイオ株式会社（以下「当社」）は、インスフェロ AG（本社：スイス、チューリッヒ州、以下「インスフェロ社」）と、同社が提供する三次元細胞培養モデルを用いた受託サービスおよび商品について、日本国内における独占販売代理店契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 契約の目的

インスフェロ社は、アメリカおよびスイスに拠点を置く、創薬における薬理・安全性試験のために最適化された、*in vitro*^{注)} 三次元培養モデル「3D *in vitro*モデル」技術のパイオニアです。当社では、インスフェロ社の3D *in vitro*モデルを用いた受託サービスや商品を製薬会社や基礎研究に従事する研究者等に販売することで、薬理・安全性試験や創薬研究を支援してまいります。

インスフェロ社の受託サービスは、3D *in vitro* モデルを用いた「3D InSight™プラットフォームサービス」を提供するもので、ラインアップとしてヒト肝細胞を用いた医薬品毒性試験や、ヒト腫瘍モデルを用いた各種試験等があります。

また、インスフェロ社の 96/384 ウェルプレート上で細胞を立体的に培養する細胞培養プレート「Akura™」シリーズは、創薬研究のさまざまな用途に活用いただけます。

当社は、インスフェロ社との国内独占販売契約により、製薬企業における薬理・安全性試験や創薬研究、また基礎研究の進展にこれまで以上に貢献してまいります。

2. 3D *in vitro* モデル技術の特徴

通常、培養皿上で細胞を培養して増殖させると、細胞は培養皿上に平面的に接着・増殖し広がっていきます。一方、体内では細胞は立体的に存在し臓器や器官を形成して機能しているため、その体内環境に近い状態を体外 (*in vitro*) で再現するには、細胞を立体的に保ち培養することが求められます。立体的に細胞を培養する場合には、通常は細胞の足場 (細胞が接着する立体構造物) が必要となりますが、立体的に培養された細胞塊の内部には十分な栄養や酸素等が行き渡らないという課題があります。これに対し、インスフェロ社の 3D *in vitro* モデルで使用する細胞培養プレートは、細胞の接着を抑え、足場がない状態でも細胞の塊を安定に生育させる独自の構造を持っており、顕微鏡観察や培地交換が容易なことから、再生医療や医薬品開発に有効な組織器官培養の試験モデルを提供することができます。

3. インスフェロ社の概要

会社名	InSphero AG
代表者の役職・氏名	Dr. Jan Lichtenberg, CEO
所在地	Wagistrasse 27a, CH-8952 Schlieren, Switzerland
設立年	2009 年
ホームページ	https://insphero.com/

4. 契約の内容

- (1) 契約締結日：2023 年 7 月 19 日
- (2) 販売開始時期：2023 年 7 月より
- (3) 契約概要：インスフェロ社が提供する商品・サービスの日本国内独占販売

5. 業績見通しに与える影響

本件販売開始による当社グループ全体の当期の業績に多大な影響を与えるものではありませんが、創薬分野の研究開発にインスフェロ社商品・サービスを広くご利用いただくことで、生命科学の進歩発展に貢献してまいります。

以上

《用語解説》

注) *in vitro* (インビトロ)

「試験管内の」という意味で、試験管や培養器などの中で体内と同様の環境を人工的に作り、ヒトや動物の被検物質と薬物等の反応を検出する試験のことを指す。